

『アジア太平洋と関西 - 関西経済白書2026 -』発表会

『アジア太平洋と関西 - 関西経済白書2026 -』の発刊にあたり、その概要を解説します。

今年度の白書では、アジア太平洋地域を巡る2026年の主要論点を踏まえ、①供給制約：原油価格高騰とナフサの供給不足等、②人口減少下における労働力確保：労働力需給ギャップの緩和、③国内投資の促進：万博の徹底検証が教えるものの3つの視点から、関西経済の成長を展望します。

 **日時** 10月7日(水) 15:30~17:00

 **会場** グランフロント大阪北館タワーC 8F
ナレッジキャピタルカンファレンスルーム Room C05

 **定員** 50名(会場開催のみ)

 **参加費** APIR会員・行政機関は **無料**
その他の方はお一人 3,000円(税込)
※ご参加のみなさまには、**白書を1冊謹呈**いたします。



次 第

- 開会挨拶 村尾 和俊 (APIR 所長)
- 事業報告 小浪 明 (APIR 代表理事)
- 白書概要解説 稲田 義久 (編集委員長)

<今年の白書の構成>

- Part I 米中発の2つのショックへの対応と試される経済耐性
- Part II 関西経済の持続的発展に向けて
- Part III Chronology (EXPO 2025)

村尾 和俊
APIR 所長



稲田 義久
APIR 研究統括
数量経済分析センター長
甲南大学 名誉教授



参加申込はこちらから

